

施設紹介

医療法人 社団 浅ノ川 金沢循環器病院

北陸アンギオ研究会
米沢正雄



病院前景

【病院の概要】

診療科

循環器科（内科）、心臓血管外科、脳神経外科、消化器内科、放射線科

ベット数 230床

住所 〒920-0007 石川県金沢市田中町 16
TEL 076-253-8000 FAX 076-253-0008

病院前の市民サッカー場と市民野球場
(時に救急への着陸場所になる)



【カテ室概要】

カテ室は2室でI. I. シングルプレーンのSiemens Axiom Artis FCとFDパイプレーンのSiemens Axiom Artis DBCが設置されています。スタッフは看護師2名、看護助手1名、臨牀工学士3名(手術室・透視兼任)、放射線技師2名です。時間外はそれぞれ呼び出しですが、患者さんが到着してからほぼ30分以内に検査を開始しています。LVA、QCAは放射線技師の担当です。放射線技師はCT・MR・撮影部門を合わせて6名を2ヵ月毎のローテーションで全員それぞれに対応できるようにしています。



I.I.装置



FPD 装置



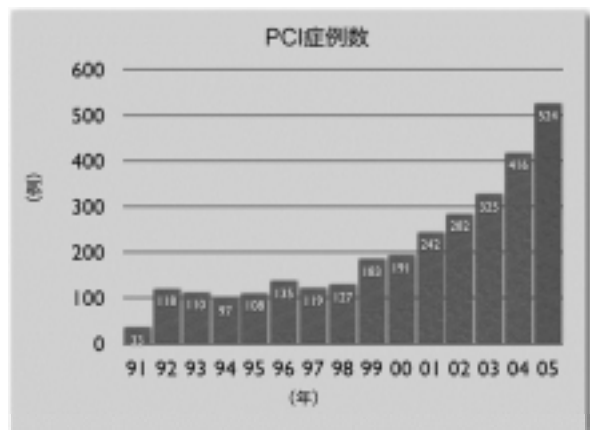
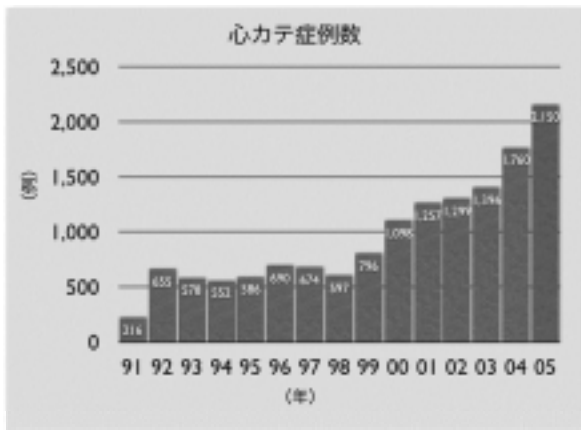
操作室



操作室

【症例数】

カテーテル検査症例数はここ5年間でほぼ倍増しています。病気の方が増えることは望ましくないことですが、平成3年に開設した本院が循環器専門病院として地域に認知されてきたことを実感します。このうちPCIは500件を超え、北信越地区では最も多く行われています。カテーテル検査に基づく死亡例や脳梗塞などの後遺症は1例もなく安全に行われています。カテーテル検査の約20%は日帰り検査です。



【心臓ドック、温熱療法、一般向け PCI ライブ開始】

2007年6月より64列CTを中心に心臓ドックを開始しました。また画期的温熱療法を開始しました。この温熱療法は鹿児島大学循環器呼吸器代謝内科学教授の鄭, 忠和教授が開発された方法で、遠赤外線やサウナ浴を繰り返すことで重症心不全や下肢閉塞性動脈硬化症による疼痛や潰瘍が改善する安全かつ画期的な治療法です。これまでの薬物療法・血行再建術・心大血管リハビリテーションに温熱療法を加えることでより充実した包括的治療を進めて行く方針です。また一般の方にカテーテル治療への理解を深めて頂くために毎月公開講座を開いてきましたが、その延長として今年の8月10日(当院で810でハートの日と名づけ無料健康相談などを行っている日)にPCIの様子を一般公開します。去年はPPIが108件行われ、心臓だけでなく全身の動脈硬化に取り組んでいます。

【当院の被曝軽減対策】

1. 従来透視は15puls/secでしたが、Axiom Artis DBCが導入されてから10puls/secを使用しています。術者の医師には説明せずに使用して来ましたが苦情は出ませんでした。
2. カテーテルアブレーションでは、透視を10puls/sec、線量を(-)モードにし、さらに軟線除去用附加フィルターCu0.9mmを追加し、管電圧は90kVを越えないような設定で使用している。X線管球には負荷がかかっていると思われるが、面積線量計の値を見ると大雑把な計算で15puls/secの通常透視に比べ1/3から1/4に軽減されています。Cuが入り過ぎのような感があるが効果はやはり違います。線量が少なくてノイズっぽい画像ですが、PCIのように細いワイヤーを見ているわけではないので術者も了解しています。
3. full sizeで使用する場合はなるべく透視線量を(-)モードで使用しています。